

# 2021 会 告 No.7

◇通知・案内事項

○化学工学会第52回秋季大会 参加募集…………… 本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2021)	(2022)
◇年会		3/16～18(神戸大学)
◇秋季大会	9/22～24(岡山大学)	9/14～16(信州大学)
◇支部大会	7/1～2(秋田県)	
◇学生発表会(東地区)		
(西地区)		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>7月 July</b>			
1～2	化学工学会秋田大会(オンライン)		4号14
1～2	第45回基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)		4号14
2	第50回記念ケミカルエンジニアリング交流会(秋田県・オンライン)		6号11
3	第58回化学関連支部合同九州大会(福岡県)		3号10
8	「化学プラントの老朽化リスクに基づく設備の保守とその評価」翻訳出版記念講演会(オンライン)		6号10
8	開発型企業連携研究会セミナー(オンライン)	7月2日(金)	6号11
9	第21回上席化学工学技士交流会(大阪)(オンライン)		5号10
9	材料技術研究協会 第一回webセミナー(オンライン)		
12	オンライン版「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(7/12, 7/19)(オンライン)	7月5日(月)	4号12
13	シングルユースシステムによる生産技術革命(オンライン)		
14	第52回化学工学の基礎講習会(7/14～8/6)(福岡県)		6号12
17	第23回先端研究発表会・講演会(宮城県・オンライン)		6号11
21	第2回 リスクに基づくプロセス安全入門(オンライン)	7月10日(土)	本号9
<b>8月 August</b>			
2～3	第45回基礎化学工学演習講座(第3クール:1日単位)(8/6, 18-20, 23, 25, 27)(オンライン)		5号12
6	フロー・マイクロ合成研究会第35回公開講演会-講演&展示-(大阪府・オンライン)	7月30日(金)	6号11
21	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)	7月20日(火)	5号9
27	オンライン版「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(8/27, 9/3)(オンライン)	8月20日(金)	4号13
27～28	第47回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ!～」東海セッション(愛知県)		6号8
<b>9月 September</b>			
6～8	オンライン版「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(オンライン)	8月30日(月)	本号7
8	第29回東北支部若手の会セミナー(オンライン)	8月24日(火)	本号10
8～9	第26回東北ジョイント夏季セミナー(オンライン)	8月24日(火)	本号10
11	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月13日(金) 13:00	6号7
13～15	「P&IDの作り方」講座(東京都)	9月3日(金)	6号9
17	オンライン版「バッチ操作を伴うプロセス設計」講座(オンライン)	9月10日(金)	5号10
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)		本号5

24～25	第47回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ！～」伊豆セッション(静岡県)		6号8
28～29	2021年度粉体技術者養成講座 第1回【乾燥】(静岡県)		6号9
29～10/1	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(東京都)	9月21日(火)	6号9
<b>10月 October</b>			
2～3	令和3年度化学系学協会東北大会(福島県)	8月27日(金)	4号14
4	「仕様書の書き方 ～要求を正しく伝えるために～」講座(東京都)	9月24日(金)	本号8
5	オンライン版「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(10/5, 13～14)(オンライン)	9月28日(火)	本号7
7～8	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	9月29日(水)	6号9
16	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)		5号8
21	オンライン版「化学物質の安全」講座(オンライン)	10月14日(木)	本号8
22～23	第47回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ！～」関西セッション(兵庫県)		6号8
28～29	2021年度粉体技術者養成講座 第2回【混合・混練】(大阪府)		6号9
<b>11月 November</b>			
4～5	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	10月27日(水)	本号8
11～12	2021年度粉体技術者養成講座 第3回【分級】(大阪府)		6号9
24～26	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	11月16日(火)	本号8
25～26	2021年度粉体技術者養成講座 第4回【粒子加工】(静岡県)		6号9
26～27	第47回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代、自ら乗る波を起こせ！～」関西セッション(千葉県)		6号8
<b>12月 December</b>			
未定	2021年度粉体技術者養成講座 第5回【集じん】(未定)		6号9
<b>2022年2月 February</b>			
3～4	2021年度粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		6号9
24～25	2021年度粉体技術者養成講座 第7回【粉碎】(大阪府)		6号9
<b>2022年3月 March</b>			
16～18	化学工学会第87年会(兵庫県)		
<b>2022年9月 September</b>			
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
9月12～17日	24th International Conference on Chemical Reactor (CHEMEREACTOR-24) (Milan, Italy)		
12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年6月19～23日	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年6月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021 (PSE 2021+) (京都府)		6号8
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
「燃焼の基礎に関する講習会」(オンデマンド配信) ～エネルギー管理士(熱分野)への第一歩～(オンライン)	7月1日～8月7日 (木～土)	日本エネルギー学 会 燃焼部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) jie-events2021@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/747/
オンライン技術セミナー 「材料の損傷・破壊の基礎知識とその適用」(オンライン)	7月6日(火)	日本高圧力技術協 会	http://www.hpj.org/murbvnvs9-178/#
第17回学術講演会(オンライン)	7月6～8日(火～木)	日本保全学会	03-5814-5430 (03-5814-6705) am17@jsm.or.jp https://jsm-conference.com/
第64回粉体入門セミナーⅢ「粉をあやつる」(オンライン)	7月7～8日(水～木)	日本粉体工業技術 協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS- Form/form.cgi?Code=nyumon
No.21-14「第31回環境工学総合シンポジウム2021」 (オンライン)	7月8～9日(木～金)	日本機械学会	03-5360-3505 (03-5360-3509) hashiguchi@jsme.or.jp https://confit.atlas.jp/env21
第85回技術セミナー 腐食を理解するための電気化学入門(オンライン)	7月9日(金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
第8回「伝熱工学の基礎」講習会(東京都またはオンライン)	7月9日(金)	日本伝熱学会	078-954-5160 (078-332-2506) basic-lecture2021@pac.ne.jp https://ez-entry.jp/basic-lecture2021/ entry/
メンテナンス・レジリエンスOSAKA 2021(大阪府)	7月14～16日 (水～金)	日本プラントメン テナンス協会, 日 本能率協会	03-3434-1988 mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/ index.html
腐食防食部門委員会 第337回例会(オンライン)	7月19日(月)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimur@office.jsms.jp http://www.jsms.jp
No.21-22 講演会 「第25回動力・エネルギー技術シンポジウム」(オンライン)	7月26～27日 (月～火)	日本機械学会 動力 エネルギーシステ ム部門	murai@eng.hokudai.ac.jp https://www.eng.hokudai.ac.jp/edu/div/ eneenv/PES25/index.html
第56回真空技術基礎講習会(大阪府)	7月27～30日 (火～金)	日本表面真空学 会, 日本真空工業 会, 大阪府技術協 会	0725-53-2329 (0725-53-2332) g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp https://www.jvss.jp
第30回日本エネルギー学会大会(富山県)	8月4～5日(水～木)	日本エネルギー学 会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai30happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/767/
表面分析実践講座2021～実践! 最新走査電子顕微鏡実習 実際の作業を通して身につける最新技術～(東京都)	8月6日(金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
混相流シンポジウム2021(大阪府・オンライン)	8月22～24日 (日～火)	日本混相流学会	mfsymp2021sertry@cm.kansai-u.ac.jp http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2021/
第1回度静電気学会講習会 「電子製品製造における静電気対策 ～静電気障害(ESD, ESA)と対策の実例～」(オンライン)	8月26日(木)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://www.iesj.org/
第38回エアロゾル科学・技術研究討論会(熊本県)	8月26～27日 (木～金)	日本エアロゾル学 会	38jaast_2021@fukuoka-u.ac.jp https://sites.google.com/view/jaast/ jaast38km

第23回日本感性工学会大会(オンライン)	9月2～4日(木～土)	日本感性工学会	jske23@jske.org https://www.jske.org/taikai/jske23/
第58回粉体に関する討論会(北海道)	9月6～8日 (月～水)	第58回粉体に関する討論会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/
2021年度工学教育研究講演会(長野県・オンライン)	9月8～10日 (水～金)	日本工学教育協会・北陸信越工学教育協会	kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
第49回可視化情報シンポジウム(神奈川県)	9月9～11日 (木～土)	可視化情報学会	https://www.vsj.jp/symp2021/
第37回ファジィシステムシンポジウム(FSS2021)(福岡県)	9月13～15日 (月～水)	日本知能情報ファジィ学会(SOFT)	fss2021-eml@soft-kyushu.org http://fss.j-soft.org/2021/
資源・素材2021(札幌) －2021年度資源・素材関係学協会合同秋季大会－ (オンライン)	9月14～16日 (火～木)	資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2021b/top?lang=ja
SPring-8シンポジウム2021 －Spring-8将来像からのバックキャストイング－ (オンライン)	9月17～18日 (金～土)	SPring-8ユーザー共同体(SPRUC), 高輝度光科学研究センター, 理化学研究所放射光科学研究センター	0791-58-2785 (0791-58-2786) sp8sympo2021@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/about_us/access/
日本流体力学会 年会2021(東京都)	9月21～23日 (火～木)	日本流体力学会	jsfm2021@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2021/
第38回センシングフォーラム 計測部門大会～新たな地平を切り開くセンシング～(オンライン)	9月30日～ 10月1日(木～金)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp
IFPEX2021(第26回フルードパワー国際見本市)(東京都)	10月6～8日 (水～金)	日本フルードパワー工業会, フジサンケイビジネスアイ	03-3432-4722 (03-3432-4730) info@ifpex.jp http://www.ifpex.jp/2021
粉体工学会第56回夏期シンポジウム (大阪府またはオンライン)	10月8～9日 (金～土)	粉体工学会	http://www.sptj.jp/
第8回アジア粉体工学シンポジウム(APT2021)(大阪府)	10月11～14日 (月～木)	APT実行委員会	apt2021@chemeng.osakafu-u.ac.jp https://apt2021.org
国際粉体工業展大阪2021(大阪府)	10月13～15日 (水～金)	日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2021@powtex.com https://www.powtex.com/osaka/
第34回日本吸着学会研究発表会(オンライン)	10月14～15日 (木～金)	日本吸着学会	022-217-5627 annualmeeting@j-ad.org http://www.j-ad.org
ケミカルマテリアルJapan2021-ONLINE-(オンライン)	10月18～29日 (月～金)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) h_onodera@chemicaldaily.co.jp
第69回レオロジー討論会(北海道)	10月20～22日 (水～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第58回石炭科学会議(宮城県)	10月26～27日 (火～水)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan58happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/792/
持続性社会のための材料とシステムに関する国際会議2021(愛知県)	11月4～6日 (木～土)	名古屋大学未来材料・システム研究所	052-581-3241 (052-789-4219) icmass2021@intergroup.co.jp http://www.icmass.nagoya-u.ac.jp/
第64回自動制御連合講演会(京都府)	11月13～14日 (土～日)	システム制御情報学会	rengo64@iscie.or.jp https://rengo64.iscie.or.jp/

第42回ドライプロセス国際シンポジウム(DSP2021) (オンライン)	11月18～19日 (木～金)	第42回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2021@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2021/
第20回破壊力学シンポジウム(和歌山県)	11月22～24日 (月～水)	日本材料学会	jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	11月28日～ 12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
第41回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月6～7日 (月～火)	日本レオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp https://www.srj.or.jp/
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021)(東京都)	12月6～10日 (月～金)	触媒学会 ファインケミカルズ合成触媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
第35回数値流体力学シンポジウム(宮城県)	12月14～16日 (火～木)	日本流体力学学会	cf35-admin@grp.tohoku.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd35/
第16回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (東京都)	2022年 1月26～28日 (水～金)	再生可能エネルギー協議会	03-5294-3888 (03-5294-0909) icouncil@renewableenergy.jp https://www.renewableenergy.jp/2022/jp/
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022)(山梨県)	2022年 11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

## 化学工学会第52回秋季大会 参加募集

会 場：岡山大学津島キャンパス(〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号)  
(双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定)

会 期：2021年9月22日(水)～24日(金)

懇 親 会：実施しません。

参加登録期間：第一期 2021年7月1日(木)～8月11日(水)23:59  
第二期 2021年8月12日(木)～8月25日(水)23:59  
第三期(含む当日) 2021年9月9日(木)～9月24日(金)12:00

大会WebサイトURL：http://www3.scej.org/meeting/52f/

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第52回秋季大会は、2021年9月22日(水)～24日(金)の3日間、岡山大学津島キャンパスにおいて開催されます。(双方向ライブ配信を併用したオンライン・オンサイト併用開催の予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況によっては会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)

本大会では、参加登録期間が三つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

「化学工学ビジョンシンポジウム」、「特別シンポジウム」をはじめとする各種企画については、本号記事「第52回秋季大会のご案内」をご覧ください。

### 新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、双方向ライブ配信を併用した「オンライン・オンサイト併用開

催]で計画しております。全てのセッションについてオンラインでの参加(登壇・聴講)を可能とします。なお、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。また、会場使用条件によっては緊急事態宣言下の地域からのオンサイト参加をご遠慮いただく場合もございます。予めご了承ください。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

### 参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

参加登録期間は以下の三つです。

第一期 7月1日(木)～8月11日(水)23:59まで  
第二期 8月12日(木)～8月25日(水)23:59まで  
第三期(含む当日) 9月9日(木)～9月24日(金)12:00まで

### 注意事項

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期では当日参加料金より大会参加費が2,000円お安くなります(会員外の方の大会参加費のみさらに3,000円お安くなります)。

第二期および第三期では当日参加料金と同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は講演プログラム集冊子や講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)のお届けが会期後となります。是非、第一期および第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で講演要旨集を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたもの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払ください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらを

ご利用ください。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただいているweb上で確認できるまで二週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払状況に関するお問合せは、化学工学会本部(https://www.scej.org/)をお願いします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格にて参加登録される方は、本会2021年度(2021年3月~2022年2月)年会費のお支払が必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みかによらず、第二期締切日(2021年8月25日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。

第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開いたします。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。第三期に参加登録された方へのお知らせは、大会直前となり、事前閲覧はできません。本大会の講演要旨公開は、2021年9月8日(水)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は参加登録時にお申込みいただければ、無料で郵送いたします。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を公開予定ですので、郵送を申込まれなかった方および未着の方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします。

す(大会参加者:3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送いたします。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3か

月後にWebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後となります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には講演プログラム集冊子(希望者のみ:お届けします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (7/1~8/11)	第二期 (8/12~8/25)	第三期 (9/9~当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	10,000円	12,000円	12,000円	不課税
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
海外正会員	10,000円	12,000円	12,000円	
海外連携会員	10,000円	12,000円	12,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員(*1)に属する社員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税
懇話会会員	13,000円	15,000円	15,000円	
部会個人賛助会員	13,000円	15,000円	15,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	13,000円	15,000円	15,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	13,000円	15,000円	15,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	10,000円	12,000円	12,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	7,000円	7,000円	
(*2)AIChE:米国化学工学会, CIESC:中国化工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, KICChE:韓国化学工学会, TwIChE:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
上記以外の方				
会員外	25,000円	30,000円	30,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

問合せ先

TEL:03-5312-6540 FAX:03-5379-0740  
E-mail:scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp  
営業時間 平日10時~17時

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ  
京王観光(株)東京中央支店

〒160-0022  
東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階  
(担当者:土橋(どばし)、イム、國分(くくぶん))

◇その他に関するお問合せ  
化学工学会 第52回秋季大会 実行委員会  
E-mail:inquiry-52f@www3.scej.org

# 人材育成センター

## オンライン版「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編 (第2回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年9月6日(月)～8日(水)

対象 以下の何れかに該当される方  
・「P&IDの作り方」講座 受講予定者  
・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(3～5年程度の経験者)  
・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方  
・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者  
・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講予定者

### 講習目標

本講座では、中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき、更に流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んでいただきます。

### 受講のメリット

- (1) 化工物性、蒸留計算編、塔・槽、熱交換器の設計編、ハイドロリックの設計編とともに本編を受講することで、プロセス設計の真髄を習得できます。
- (2) 「P&IDの作り方」講座を受講する前の事前学習として有効です。
- (3) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(8月30日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

### 講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、約3時間半/日のペースで、3日連続で開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。http://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\_SCEJ\_jinzai\_ONLINE.pdf

オリエンテーション：8月30日(月)11:00～(最大でも12:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

第1日：9月6日(月)13:15～16:45

時間(目安)	内容
13:15～14:15	12章
14:15～14:30	<休憩>
14:30～15:30	12章
15:30～15:45	<休憩>
15:45～16:45	13章

第2日：9月7日(火)13:15～17:15

時間(目安)	内容
13:15～14:15	13章
14:15～14:30	<休憩>
14:30～16:00	PFD例題及び14章[PFD作成手順説明]
16:00～16:15	<休憩>
16:15～17:15	14章[PFD作成演習]

第3日：9月8日(水)13:15～16:30

時間(目安)	内容
--------	----

13:15～14:15 14章[PFD作成演習](前日の続き)

14:15～14:35 <休憩[演習提出]>  
14:35～15:30 14章[PFD作成演習解説]  
15:30～15:45 <休憩>  
15:45～16:30 15章

\*実習の際には、シャープペンと消しゴムをご用意下さい。

\*2日目から3日目にかけて実施する[PFD作成実習]での作成物は、3日目の休憩時間中にscan等をして事務局にメールで提出していただきます。

### プログラム

12. 蒸留塔周りの制御
13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)
14. PFD作成実習
15. 計装・制御についての補足事項

講師 経験豊富なエンジニア

永野健一郎氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスプロジェクトカンパニー プロセステクノロジー本部 プロセス技術部、上席化学工芸技士、技術士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

募集定員 15名

受付締切 8月30日(月)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員<技士基礎割*>	16,500円(本体15,000円)
個人正会員	33,000円(本体30,000円)
維持会員/特別会員の社員	41,250円(本体37,500円)
地区会員の社員	49,500円(本体45,000円)
会員外	57,750円(本体52,500円)

\*技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工芸技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kkctcs.co.jp/srms2/c/scej/event/EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
〒112-000 6東京都文京区小日向4-6-19  
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

## オンライン版「ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス及び膜反応器の設計」講座(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

員会

日時 2021年10月5日(火)、13日(水)、14日(木)

対象 以下の何れかに該当される方  
・膜分離や膜反応器を扱う研究者・技術者(3～5年程度の経験者)

・プラントのプロセス設計を行う技術者(3～5年程度の経験者)

・膜分離設備設計技術者(3～5年程度の経験者)

・Excelのゴールシークとソルバー機能の経験。または、知識がある(使い方のサポートを必要としない)こと。  
(今回はオンライン開催ですので、これらの経験や知識がない場合にはフォローすることが困難です。ゴールシークとソルバー機能については、各自で以下に記した事前学習をお願いします。或いは、今後の対面開催時のご参加をご検討ください。)

講習目標 ガス分離膜・浸透気化膜の基礎を理解するとともに、ガス分離膜・浸透気化膜装置及び膜反応器の設計法を習得していただきます。また、実際のプラントに即した演習問題を解くことにより、設計法を理解していただきます。

### 受講のメリット

- (1) ガス系分離膜の基礎及び実際に学べます。
- (2) ガス系分離膜装置の設計法を学べます。
- (3) パーバレーション、蒸気透過について学べます。
- (4) 膜反応器について学べます。
- (5) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(9月28日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (6) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

### 講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、以下のスケジュールで計3回にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。http://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\_SCEJ\_jinzai\_ONLINE.pdf

オリエンテーション：9月28日(火)11:00～(最大でも12:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

第1日：10月5日(火)9:30～17:10(原谷氏)

時間(目安)	内容
9:30～10:30	1章
10:30～10:40	<休憩>
10:40～11:40	2章及びExcel演習<昼休み★>
11:40～12:40	2章及びExcel演習<休憩★>
12:40～13:40	3章及びExcel演習<休憩★>
13:40～14:50	3章及びExcel演習<休憩★>
14:50～15:00	3章及びExcel演習<休憩★>
15:00～16:00	3章及びExcel演習<休憩★>
16:00～16:10	3章及びExcel演習<休憩★>
16:10～17:10	3章及びExcel演習

第2日：10月13日(水)13:15～16:30(喜多氏)

時間(目安)	内容
13:15～14:45	4章

14:45～15:00 <休憩>  
 15:00～16:30 5章  
 第3日：10月14日(木) 13:00～17:00(都留氏)  
 時間(目安) 内容  
 13:00～13:40 6章  
 13:40～13:50 <休憩>  
 13:50～14:30 7章及びExcel演習  
 14:30～14:40 <休憩★>  
 14:40～15:20 8章及びExcel演習  
 15:20～15:30 <休憩★>  
 15:30～16:10 8章及びExcel演習  
 16:10～16:20 <休憩★>  
 16:20～17:00 8章及びExcel演習  
 ※時間配分はおおよそその目安です。当日の進行状況に若干の変動もごさい。

★直前のExcel演習で遅れが生じている受講者に対しては、休憩時間中に時間が許す範囲でフォローアップする予定です。

#### プログラム

1. ガス系分離膜の基礎
  2. ガス系分離膜の実際
  3. ガス系分離膜装置の設計法
  4. PV・VPプロセスの基礎と応用
  5. PV・VPプロセス設計法
  6. 膜反応器の基礎
  7. 膜反応器の設計基礎
  8. 膜反応器の設計法
- ※なお、1日目及び3日目の演習ではExcelのゴールシークを使います。受講の際にはExcelを使えるパソコンで受講して下さい。  
 ※ゴールシーク、ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号～2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。

**講師** 経験豊富な大学の先生や実務家  
 原谷賢治氏 ((独)産業技術総合研究所 客員研究員)  
 喜多英敏氏 (山口大学大学院創成科学研究科 教授(特命))  
 都留稔了氏 (広島大学大学院先進理工系科学研究科 化学工学プログラム 教授)

**受講証明書** 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

**修了証** 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

**継続教育ポイント** 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

**募集定員** 10名 6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

**受付締切** 9月28日(火)9:00

**受講料(消費税10%込)**

個人正会員 44,000円(本体40,000円)  
 維持会員/特別会員の社員 55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)  
 会員外 77,000円(本体70,000円)  
**申込方法** 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。  
<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>  
**問い合わせ先**  
 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
 E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

## オンライン版「化学物質の安全」講座(第1回)

**主催** 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

**日時** 2021年10月21日(木)

**対象** 以下の何れかに該当される方  
 ・化学物質を扱う技術者・研究者(1～5年程度の実務経験者)  
 ・化学物質取り扱い上の危険性、安全上の問題点について知りたい若手技術者

**講習目標** 化学物質による火災や爆発の危険性を分類し、それぞれ物質の危険性、取り扱い上の問題点などの基礎的な知識を身につけていただきます。

**受講のメリット**

- (1) 化学物質の危険性や取り扱い上の注意を学べます。
- (2) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(10月14日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (3) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

**講座内容**

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで開催致します。オンライン開催になりますが、目安として講義60分につき休憩10分程度と取りながら、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

[http://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar\\_SCEJ\\_jinzai\\_ONLINE.pdf](http://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf)

**オリエンテーション**: 10月14日(木)11:00～(最大でも12:00)

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

**講義**: 10月21日(木)9:30～17:10

1. 危険物質総論  
 化学物質の安全管理－開発から廃棄まで、危

険有害性化学物質の分類、SDS、GHS、REACH規制への対応

2. 化学物質の燃焼・爆発危険性  
 高圧ガスの燃焼性・爆発性、液体の燃焼性・爆発性、固体の燃焼性・爆発性、静電気による着火・爆発危険性とその管理、自己反応性、自然発火性、混合危険性

3. 燃焼・爆発危険性の指標と測定法  
 爆発範囲と爆発限界、発火および引火、消炎距離および最大安全すきま(MESG)、最小発火エネルギー、爆発指数(爆発強度指数)、燃焼熱、酸素バランス、CHETAH、REITP3を用いた危険性評価

4. 燃焼・爆発以外の危険性と対策  
 金属腐食性、健康有害性、作業環境測定、曝露防止対策

5. 反応暴走の危険性  
 反応の暴走、危険性の高い主な反応

**講師** 安全分野で経験豊富な研究者  
 堀口貞茲氏(元(独)産業技術総合研究所 爆発安全研究センター)

**受講証明書** 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

**修了証** 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

**継続教育ポイント** 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は4号会告5ページ参照)

**募集定員** 20名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

**申込締切** 10月14日(木)9:00

**受講料(消費税10%込)**

個人正会員<技士基礎割\*> 11,000円(本体10,000円)  
 個人正会員 22,000円(本体20,000円)  
 維持会員/特別会員の社員 27,500円(本体25,000円)  
 地区会員の社員 33,000円(本体30,000円)  
 会員外 38,500円(本体35,000円)

\***技士基礎割**は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後2年以内の社会人であること。

**申込方法** 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記URLをブラウザに直接入力して頂き、該当する講座を選択してお申込み下さい。  
<https://service.kkctcs.co.jp/smms2/c/scej/event/EventList.htm>

**問い合わせ先**  
 公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局  
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19  
 E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org  
 TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

7/5(月)～7(水)に予定していた「プラント計装制御-1」講座(4号会告11掲載)は11/24(水)～26(金)に日程を変更致しました。

7/13(火)に予定していた「仕様書の書き方～要求を正しく伝えるために～」講座(4号会告12掲載)は10/4(月)に日程を変更致しました。

7/20(火)～21(水)に予定していた「モデリング技術の基礎と実践」講座(4号会告9掲載)は11/4(木)～5(金)に日程を変更致しました。



# 産学官連携センター

## 第2回 リスクに基づく プロセス安全入門 (オンライン講習会) ～現場技術者のためになる プロセス安全の考え方を学ぶ～

主催 公益社団法人 化学工学会 SCE・Net、公益社団法人 化学工学会 関東支部  
協賛 公益社団法人 化学工学会安全部会

“化学工場に於ける大事故をどのようにして防ぐか”というテーマに対して、米国 OSHA<sup>\*1)</sup> の PSM (Process Safety Management) が既に標準となっています。これは、火災・漏洩・爆発といったプロセス事故防止の管理を規定するものです。この中で、企業は、化学物質やエネルギーが放出されるというハザードに対して、そのリスクをコントロールして安全管理することを求められています。

AICHe<sup>\*2)</sup> の CCPS<sup>\*3)</sup> は、さらに考え方を進め、プラントで働く人達がどう行動すべきかについて、“リスクに基づくプロセス安全” (RBPS: Risk Based Process Safety) という行動指針として示しています。

本講座では今や欧米では常識となりつつある RBPS の考え方について学んでいただきます。

本講習会を受講していただくことで、米国における最新のプロセス安全管理の考え方を理解するだけでなく、グローバルレベルのプロセス安全を知り自社のレベルを認識できます。これを機会に受講をお勧めいたします。

本講習会は Zoom を用いたオンライン形式で行います。事前に職場や自宅で学習が可能なオンデマンドビデオ教材に取り組んでいただき、プロセス安全についての講義と事例演習のグループ討議により、理解を深めるようにしています。

(\*)1) OSHA (Occupational Safety and Health Administration: アメリカ労働安全衛生局)

(\*)2) AICHe (American Institute of Chemical Engineers: アメリカ化学工学技術者協会)

(\*)3) CCPS (Center for Chemical Process Safety: 化学プロセス安全センター)

日時 2021年7月21日(水)13:00～17:00

会場 Zoom オンライン方式 (オンデマンド動画教材による事前学習あり)

ビデオによるオンデマンド事前学習

ビデオ I RBPS とは

ビデオ II RBPS の各要素

ビデオ III 設計・現場に反映

ビデオ IV 職場でのプロセス安全

1週間前から視聴可能になりますので、講義の理解、グループ討議を有用なものにするために、事前学習を必ずお願いいたします。

・事前学習は、約90分の動画ですが4つのパートに分割されており、パートごとに学習可能です。

・動画は、申込登録者のみ閲覧できます。(ファイルのコピーは禁止です)

・Vimeo へアクセスし学習動画をストリーミング再生し閲覧する方式となりますので、閲覧できる環境のご準備をお願いいたします。環境確認用の URL は以下の通りです。

<http://sce-net.jp/main/videocheck/> (パスワードは「videocheck」)

プログラム

1. 開講に当たって (RBPS を学ぶ意義について) 13:00～13:15

竹内 亮氏

2. リスクに基づくプロセス安全 (RBPS) の基礎 13:15～14:00

井内謙輔氏

1) プロセス安全の歴史

2) OSHA 法規制と RBPS の違い

3) RBPS の基本となるピラーとエレメントの解説

3. RBPS による事例研究 (事例説明+グループ・ディスカッション+発表)

1) イリノイ州、FPC 社 塩ビモノマー爆発 14:00～15:10

飯濱 慶氏

《休憩》

2) テキサスシティー、BP 社製油所爆発 15:20～16:30

山本一己氏

グループ討議には、1グループ最大6名で各グループに講師1名がファシリテータとして入ります。

4. RBPS の実務への応用 16:30～17:00

竹内 亮氏

1) RBPS を設計に反映するために

2) 職場でのプロセス安全

3) 質疑応答

募集人数 24名(定員になり次第締め切らせていただきます)

注意事項 Zoom と Vimeo へのアクセスが必要です。Vimeo へのアクセスは以下の RL からご確認の上、お申込み下さい。(社内のネット環境によりアクセスできない場合があります)

<http://sce-net.jp/main/videocheck/> (パスワードは「videocheck」)

参加費 個人正会員 15,000円、法人会員の社員 20,000円、会員外 30,000円、関東支部サロメンバー 10,000円、学生会員 8,000円  
教科書代は別途4,500円が掛かります。既にお持ちの方は不要です。

\*協賛団体の会員は本会会員と同等の条件で参加できます。

\*参加費にはオンデマンド事前学習と当日スライド pdf の代金と消費税が含まれます。参考となる教科書代は含まれません。

教科書:「若い技術者のためのプロセス安全入門」(\*) (丸善出版, 2018年発行) 4,500円 (税込み) (特別価格が適用されます)

(\*) AICHe の CCPS が 2016年に発行した “Introduction to Process Safety for Undergraduates and Engineers” を化学工学会 SCE・Net 安全研究会が翻訳して 2018年末に発行したものです。

支払方法 受付後お送りする振込用紙(手数料無料)、又は銀行振込にて事前にお振込み下さい。当日になってのキャンセルの場合は、参加費をご請求させていただきます。

申込方法 関東支部 HP (<http://www.scej-kt.org/>) 「第2回 リスクに基づくプロセス安全入門」をクリックし、“参加申込みフォーム”よりお申込み下さい。又は申込書に所定事項を記入の上、事前の下記までお送り下さい。

申込締切 2021年7月10日(土)

申込先 公益社団法人 化学工学会 関東支部  
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館5階

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: [info@scej-kt.org](mailto:info@scej-kt.org)

お問合せ

お申込み・入金に関するお問合せ先

化学工学会 関東支部 ([info@scej-kt.org](mailto:info@scej-kt.org))

講座の内容に関するお問合せ先

SCE・Net 安全講習会事務局 ([panzen2021@sce-net.jp](mailto:panzen2021@sce-net.jp))

## 地域 C T



### 東北支部

#### 第29回東北支部若手の会セミナー —化学工学に基づく機能性材料 開発に向けた基礎と応用—

主催 化学工学会東北支部  
共催 青森化学工学懇話会, 宮城化学工学懇話会  
協賛 岩手化学工学懇話会, 秋田化学工学懇話会, 山形化学工学懇話会, 福島化学工学懇話会

日時 2021年9月8日(水)  
会場 見学会: 日本原燃(株)  
形式: オンライン

#### 日程とプログラム

9月8日(水)

見学会 13:00～15:00 日本原燃(株)

講演会(講演40分, 質疑5分)

15:30～16:15 講演(1)「超臨界流体含浸プロセスの設計へ向けたバルク及びナノ空間物性の定量的把握とモデリング」

広島大学大学院先進理工系科学研究科  
宇敷育男氏

16:15～17:00 講演(2)「炭素材料の特性を活かした機能性触媒の開発」

東北大学材料科学高等研究所 吉井文晴氏

18:30～ 交流会・意見交換会

9月9日(木)

続いて2日目は第26回東北ジョイント夏季セミナーが開催されますので、ご興味ございましたら是非ご参加下さい。但し、ご参加の場合は別途参加費が必要です。

申込締切 8月24日(火)

#### 参加費

見学会+講演会+交流会 会員4,000円, 学生会員1,500円, 非会員5,000円  
見学会のみ参加 会員1,000円, 学生無料, 非会員2,000円

講演会のみ参加 会員無料, 学生無料, 非会員1,000円

講演会+交流会 会員3,000円, 学生会員1,500円, 非会員4,000円

備考 第26回東北ジョイント夏季セミナーへもご参加される場合, 会員+5,000円, 学生+2,000円, 非会員+12,000円が別途必要になります。

申込方法 参加者のお名前, 所属, 連絡先(E-mail, TEL等), 会員区分, セミナー出欠, 交流会出欠を記入の上, FAX, またはE-mailにて下記連絡先までお申込み下さい。オンラインでのご参加方法は, お申込み後に参加方法について個別にご連絡いたします。

連絡先 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07  
東北大学工学部化学・バイオ工学科内 化学工学会東北支部事務局  
E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp  
FAX&TEL: 022-712-0887

#### 第26回東北ジョイント 夏季セミナー

主催 化学工学会東北支部  
共催 青森化学工学懇話会, 宮城化学工学懇話会

協賛 岩手化学工学懇話会, 秋田化学工学懇話会, 山形化学工学懇話会, 福島化学工学懇話会, 日本伝熱学会東北支部, 東北伝熱懇話会, 日本エネルギー学会東北支部

日時 2021年9月8日(水)～9日(木)

日程とプログラム(講演40分, 質疑5分)

第1日目

15:30～16:15 講演(1)(若手の会セミナー)  
「超臨界流体含浸プロセスの設計へ向けたバルク及びナノ空間物性の定量的把握とモデリング」

広島大学大学院先進理工系科学研究科  
宇敷育男氏

16:15～17:00 講演(2)(若手の会セミナー)  
「炭素材料の特性を活かした機能性触媒の開発」

東北大学材料科学高等研究所 吉井文晴氏  
18:30～ 交流会・意見交換会

第2日目

10:00～10:05 支部長挨拶

10:05～10:50 講演(3)「大学の環境安全衛生管理の過去・現在・未来(仮)」

名古屋大学環境安全衛生推進本部  
林瑠美子氏

10:50～11:35 講演(4)「メタノール熱分解炭素を用いた使用済み脱硝触媒からのヒ素の除去」

秋田大学大学院理工学研究科 加藤貴宏氏  
11:35～12:20 講演(5)「省エネルギー反応・分離プロセスに向けたイオン液体の開発」

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門  
河野雄樹氏

12:20～13:20 昼食(各自)

13:20～14:05 講演(6)「耐熱性芳香族高分子の設計と開発」

岩手大学理工学部 塚本 匡氏  
14:05～14:50 講演(7)「研究生活40年を振り返って～液体微粒化研究を中心に～」

八戸工業大学工学部機械工学科 大黒正敏氏  
14:50 解散

申込締切 8月24日(火)

#### 参加費

講演会+交流会 会員8,000円, 学生3,500円, 非会員15,000円  
講演会のみ 会員5,000円, 学生2,000円, 非会員12,000円

(同時開催の第29回若手の会セミナー講演会にもご参加いただけます。なお, 若手の会セミナー見学会には会員+1,000円, 学生無料, 非会員+2,000円にて参加いただけます。)

申込方法 参加者のお名前, 所属, 連絡先(E-mail, TEL等), 会員区分, セミナー出欠, 交流会出欠を記入の上, FAX, またはE-mailにて下記連絡先までお申込み下さい。オンラインでのご参加方法は, お申込み後に参加方法について個別にご連絡いたします。

連絡先 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07  
東北大学工学部化学・バイオ工学科内 化学工学会東北支部事務局  
E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp  
FAX&TEL: 022-712-0887

## 求人

### ☆九州大学 大学院工学研究院 化学工学部門 准教授 公募☆

募集人員: 生産システム工学講座 准教授1名  
専門分野: 反応性流体を利用した環境・エネルギーのプロセスに関する分野  
応募資格: 博士の学位を有し, 研究と教育に熱意のある方  
応募締切: 2021年8月16日(月)必着  
問合せ先: 〒819-0395 福岡市西区元岡744  
九州大学大学院工学研究院化学工学部門 渡邊隆行  
TEL: 092-802-2745 FAX: 092-802-2745  
E-mail: watanabe@chem-eng.kyushu-u.ac.jp